

第1回岐阜県新型コロナウイルス感染症対策 調整本部

日 時： 令和2年4月2日（木）
19時00分～

場 所： 県庁4階 特別会議室
県総合調査 テレビ会議室

- 1 調整本部の設置 資料1

- 2 県内の感染状況 資料2

- 3 入院患者及び重症患者の受入れ・搬送に関する仕組みの構築について 資料3
 - ・ 入院までの流れについて
 - ・ 空床補償について
 - ・ 患者の搬送体制について

- 4 PCR検査の検体受入れに関する仕組みの構築について 資料4

- 5 患者受入れ可能病床数などの情報に関するシステム化について 資料5

岐阜県新型コロナウイルス感染症対策 調整本部メンバー

○感染症の専門家

- | | |
|-------------------------|-------|
| ・岐阜大学地域医療医学センター教授（座長） | 村上 啓雄 |
| ・国立病院機構長良医療センター統括診療部長 | 加藤 達雄 |
| ・岐阜大学医学部附属病院生体支援センター長 | 馬場 尚志 |
| ・愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学教授 | 三嶋 廣繁 |

○救急医療の専門家

- | | |
|-------------------------|-------|
| ・岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター長 | 小倉 真治 |
|-------------------------|-------|

○県医師会副会長及び常務理事

○県病院協会会長

○感染症指定医療機関（5 医療機関）

- ・岐阜赤十字病院
- ・大垣市民病院
- ・中濃厚生病院
- ・岐阜県立多治見病院
- ・久美愛厚生病院

○帰国者・接触者外来設置医療機関（24 医療機関）

○行政機関

- ・岐阜県健康福祉部次長（医療担当）
- ・岐阜県健康福祉部保健医療課長 ※調整本部の事務局を兼ねる
- ・県内の保健所長（7 か所）
- ・岐阜市保健所長
- ・岐阜県保健環境研究所
- ・岐阜市衛生試験所
- ・県内消防本部の代表

岐阜県新型コロナウイルス感染症対策 調整本部

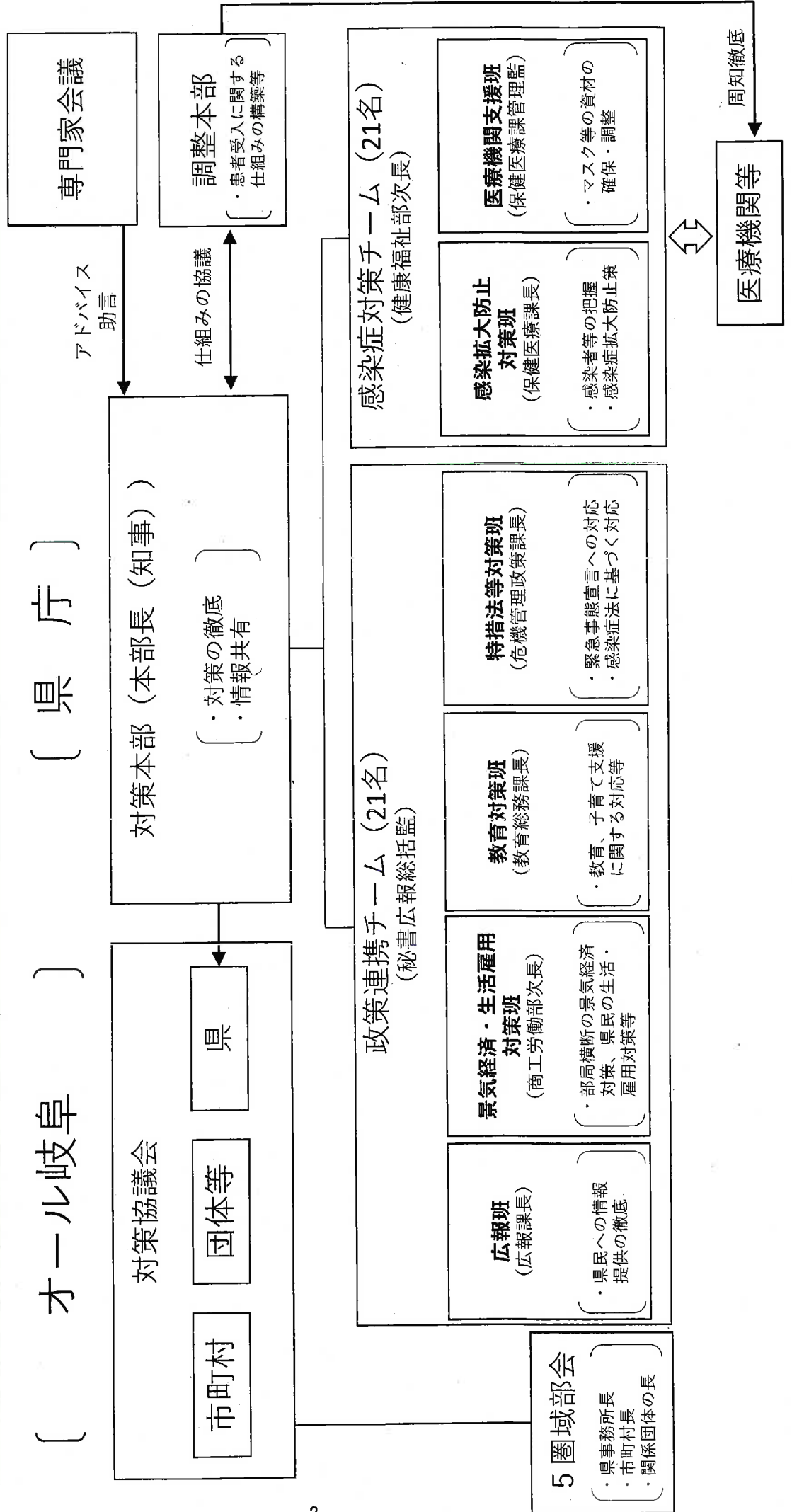
岐阜県内の患者受入れ等を調整するため、「岐阜県新型コロナウイルス感染症対策 調整本部」を設置する。

[◇調整本部の主な業務]

- ①入院患者及び重症患者の受入れに関する仕組みの構築
(重点医療機関の設置、特別配慮が必要な患者の受入れ等含む)
- ②入院患者及び重症患者の搬送に関する仕組みの構築
- ③PCR検査の県内の検体受入れに関する仕組みの構築
- ④情報の収集・(医療体制整備状況、患者受入れ可能病床数、人工呼吸器やECMO^{*}の利用可能状況、PCR検査の実施体制 等)
- ⑤技術的助言・指導・患者受入調整(治療、感染防御)
- ⑥その他(医師派遣調整、国及び他都道府県との広域調整 等)

※ECMO : extracorporeal membrane oxygenation 「体外式膜型人工肺」

新型コロナウイルス感染症対策推進体制



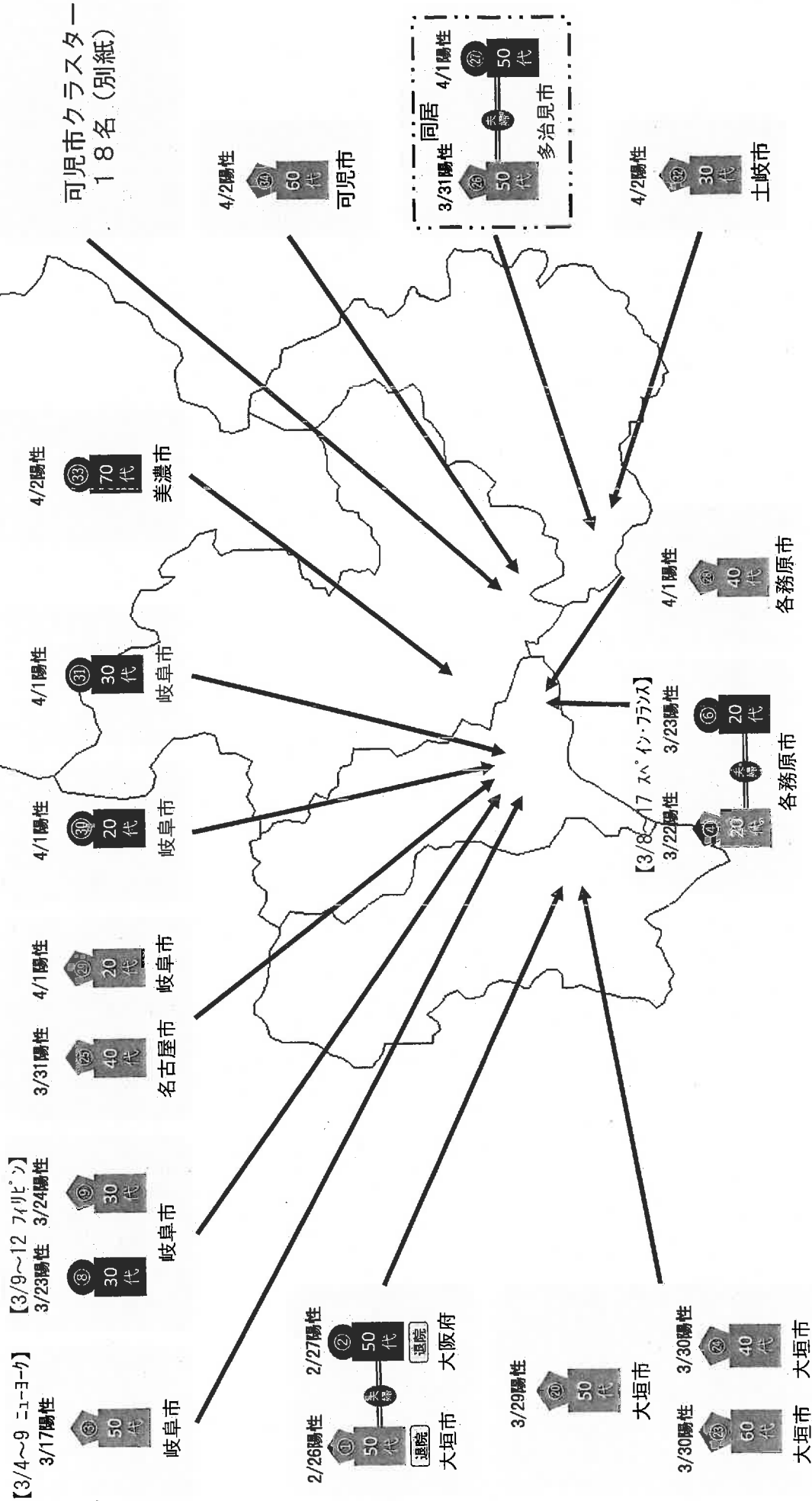
4月2日 15時現在

岐阜県における新型コロナウイルス感染者発生状況図

県内34名

【 】：渡 航 歴

♂ 男性 女性

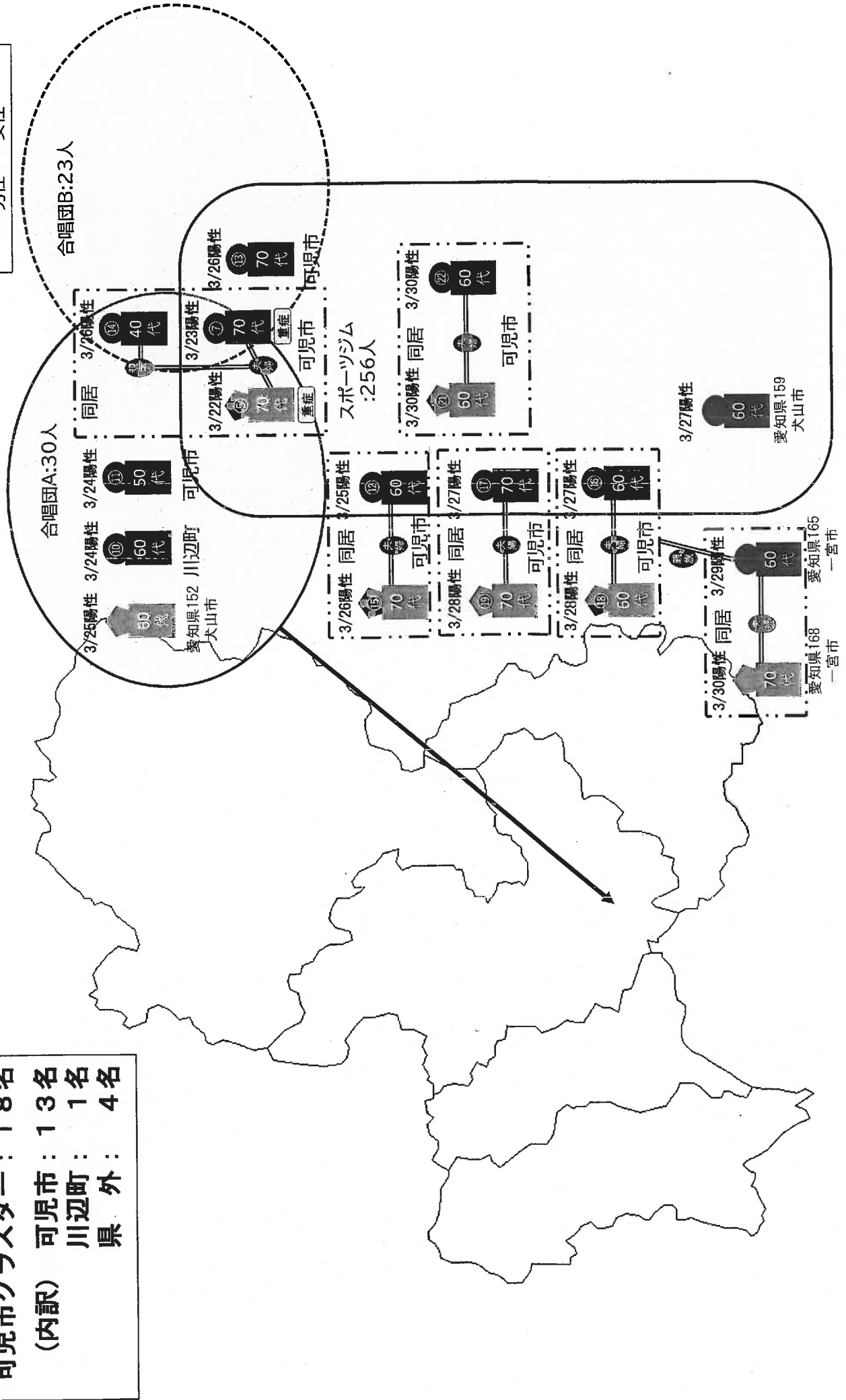


4月2日 14時現在



岐阜県における新型コロナウイルス感染者 発生状況図

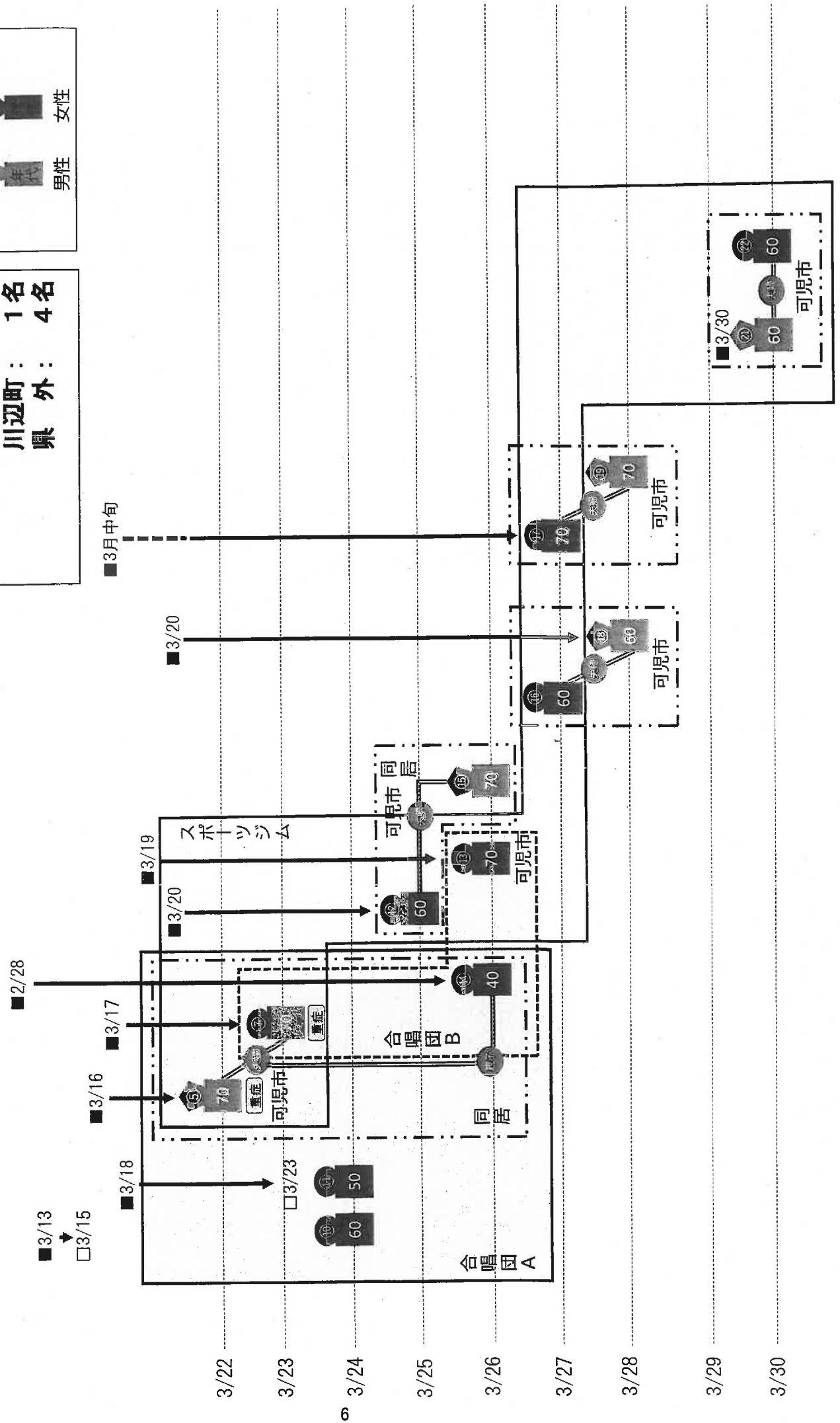
可児市クラスター：18名
 (内訳) 可児市：13名
 川辺町：1名
 県外：4名



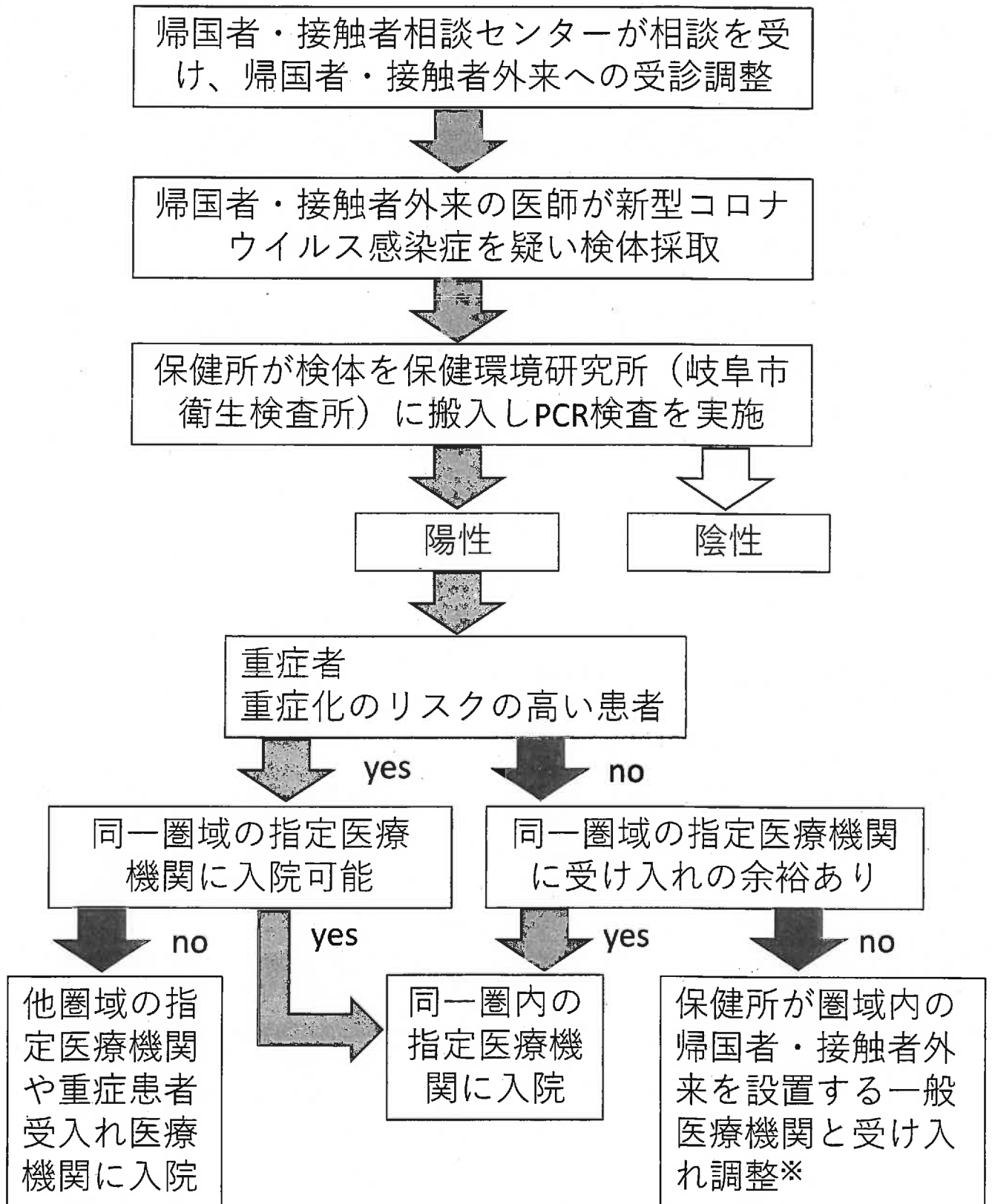
可児市クラスター：18名
 (内訳) 可児市：13名
 川辺町：1名
 県外：4名

【】：渡航履歴
 ■：症状発現日
 □：症状消失、改善日

♂：男性
 ♀：女性

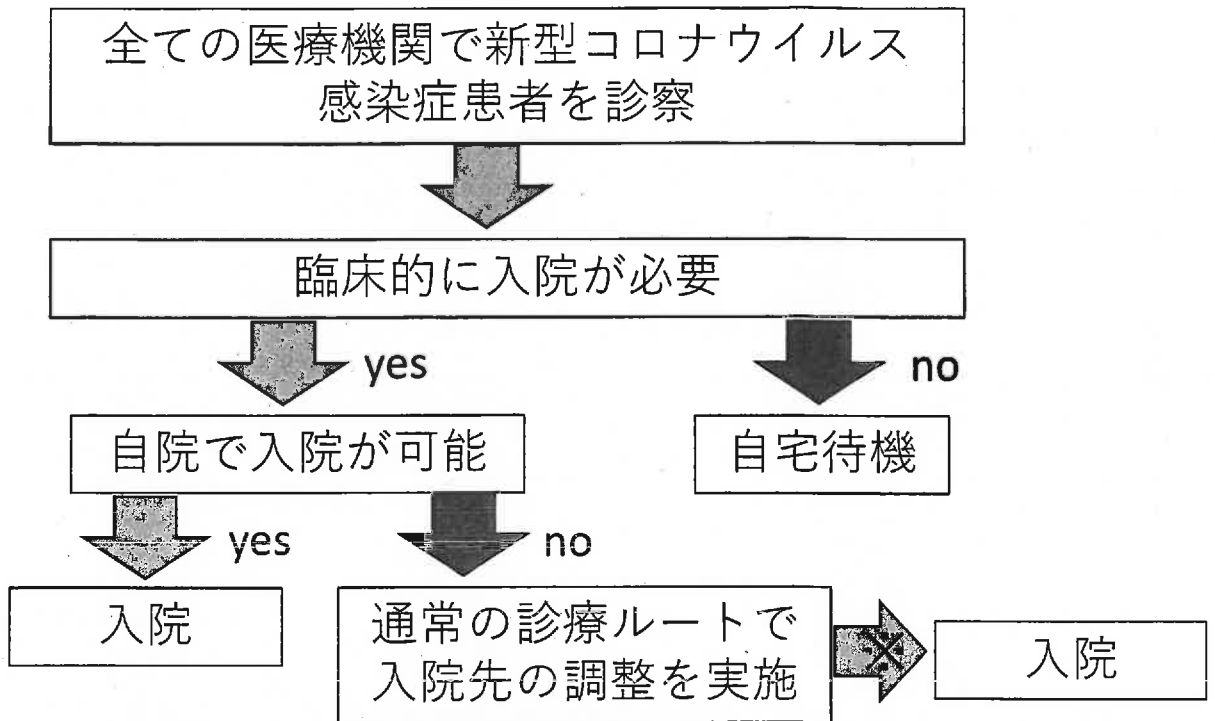


入院までの流れ（現行）



※受け入れにあたっては、公立・公的病院を優先し、地域の実情を勘案しながら各保健所が入院先を調整

入院までの流れ（案）（感染まん延期）



【岐阜県調整本部の役割】

- ・ 患者受入れ可能病床数の情報共有
- ・ ICU等の重症者受入れ可能病床数の情報共有
- ・ 人工呼吸器、ECMOの利用可能状況等の共有
- ・ 消防部門との情報共有
- ・ ※についての技術的な助言・調整
- ・ 保健所の指導

【保健所の役割】

- ・ クラスター調査の実施
- ・ 陽性患者の搬送
- ・ 重症例に限定した行政検査の実施

<論点>

○重症患者の搬送を24時間、365日担う「患者搬送コーディネータ」の配置

○新型コロナウイルス感染症を専ら診療する「重点医療機関」の設置

○急性期を過ぎ、症状が安定した患者を専ら収容する後方施設の設置

※空き病床の確保については、国の報償費補助の活用を進めるとともに、県の追加支援も検討

新型コロナウイルス感染症対策に関する医療提供体制の状況

<令和2年3月現在調査結果>

保健所管内	帰国者・接触者外来医療機関数	ピーク時の患者推計数 (F2.3.6 厚労省計算式)		まん延期の入院受入れ可能病床数 (3/16 病床調査)							保有数		
		入院治療が必要な患者	重症患者	肺炎	脳炎 脳症	ECMO PCPS	多臓器 不全	小児(※)	妊婦(※)	ICU 病床数	人工呼吸器 台数	ECMO台数	
岐阜市	6	725	24	88		2	4	可	可	77	135	10	
岐阜保健所	4	669	22	65	1	1	1			14	46	3	
西濃保健所	3	672	23	90	1	5	6	可	可	35	51	7	
関保健所	3	292	10	39	1	1	1	可	可	8	31	1	
可茂保健所	1	399	13	19	1			可		22	22	2	
東濃保健所	3	386	12	10		1		可	可	35	14	1	
恵那保健所	1	257	9	8		1	1			10	12	0	
飛騨保健所	3	305	10	31	1	0	3	可	可	14	30	0	
岐阜県計	24	3,705	123	350	5	11	16			215	341	24	

<論点>

- ・まん延期を見据えた目標とすべき病床数（重症、中等症、軽症）
- ・後方施設の規模
- ・技師等の確保

医師・技師数・病床数を考慮した稼働可能数 (令和2年4月1日時点)	
人工呼吸器台数	ECMO台数
106	12

新型コロナウイルスに関連した空床補償について

<現在の制度>

○国庫補助対象病床

- ・感染症指定医療機関の感染症病床以外の病床
- ・感染症指定医療機関以外の病床

○補助対象経費

対象経費	基準額	負担割合
・病床を確保した日から入院前日まで ・退院後、消毒等のため空床とした日数	16,190 円/日	国 1/2
・消毒等に係る経費	消毒等に要した経費	都道府県等 1/2

○補助要件

新型コロナウイルス感染症患者等の入院のために確保するものとして、都道府県等が厚生労働省に協議した病床に限る。

○1ヶ月あたりの補償額

○1ヶ月間、1床を空床とした場合

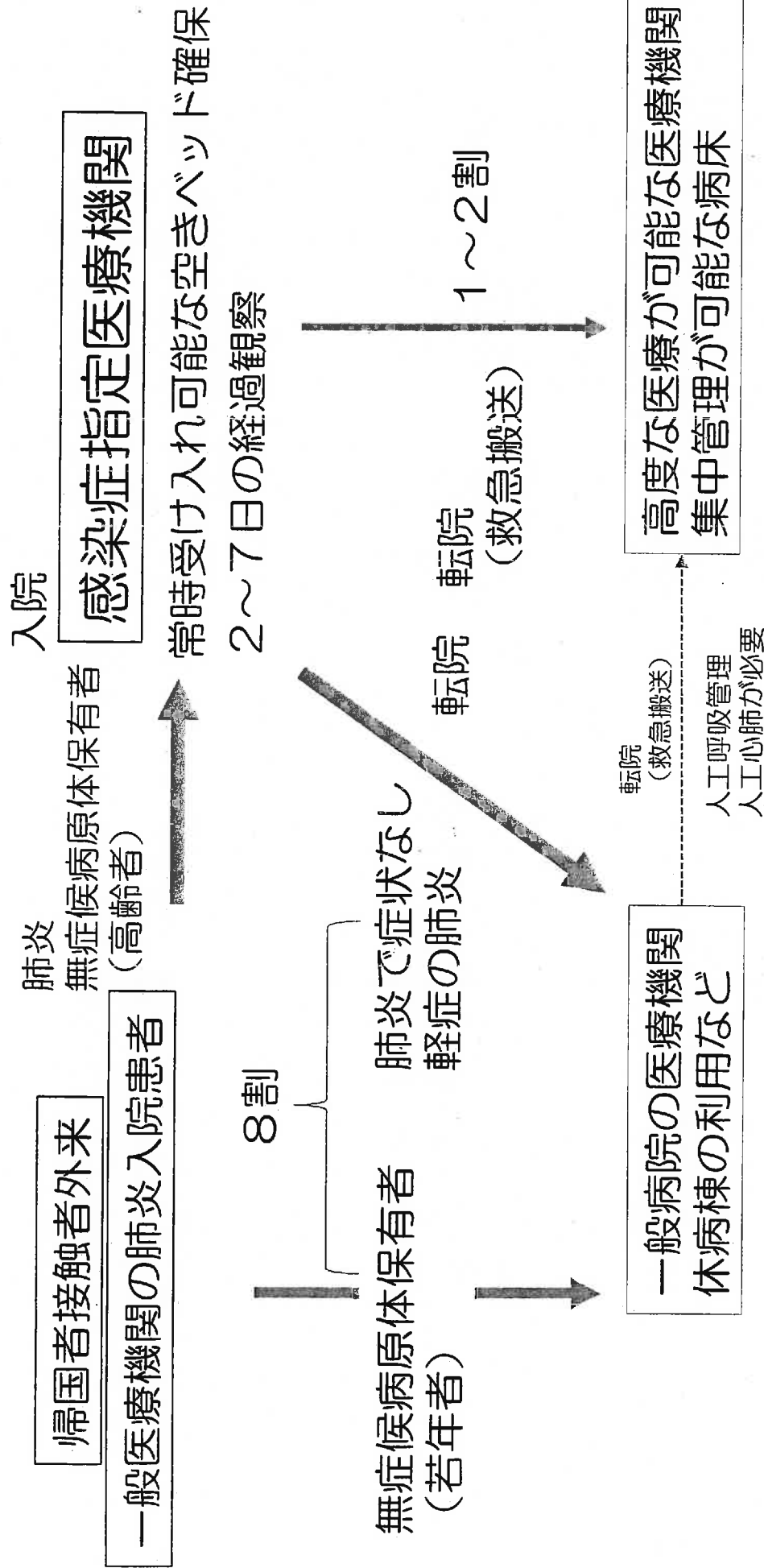
基準額 $16,190 \text{ 円/日} \times 1 \text{ 床} \times 30 \text{ 日} = 485,700 \text{ 円}$

<検討事項>

- 基準額 16,190 円/日で対応可能か。

当面の医療体制について (クラスター発生時、感染爆発前)

令和2年3月28日
専門家会議 加藤先生資料から引用



問題点：転院搬送が多く、救急隊の負担が大きい

PCR検査の実施について

【現在の実施体制】

- 岐阜県保健環境研究所及び岐阜市衛生研究所での行政検査の実施
 - ・ キャパシティー：80件/日（最大120件/日）
 - ・ 累計検査件数：903件（4/1現在）

※両機関のキャパシティーに空きがある限りは、まずは行政検査を活用。

- 公的医療保険を利用したPCR検査を帰国者・接触者外来医療機関（23医療機関）が民間検査機関に依頼して実施
 - ・ 23医療機関が民間検査機関2社と契約

キャパシティーは全国で約1,400件/日

※県と23医療機関は委託契約済み。

【まん延期を見据えた実施体制の充実】

- 民間検査機関への依頼検査に加えて、帰国者・接触者外来医療機関内等でのPCR検査の実施
 - ・ 自院内での迅速な検査機器購入に対する財政的支援

- 岐阜県保健環境研究所における臨床検査技師の確保及び迅速検査機器の配備

自院におけるPCR検査実施のための支援

<現在の制度>

○感染症の検体検査機器の整備費補助

- ・対象施設 帰国者・接触者外来設置医療機関等
- ・対象経費 次世代シーケンサー、リアルタイムPCR装置及び、等温遺伝子増幅装置等※の購入費
※RNA自動抽出器など検査に必要となる前処理工程の機器を含む
- ・事業者負担 1/2

→ 事業者負担をさらに軽減する県の追加支援を実施

臨床検体を用いた評価結果が取得された 2019-nCoV 遺伝子検査方法について

厚生労働省健康局結核感染症課
国立感染症研究所

2020年3月31日版

新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、その緊急性に鑑み、精度や汎用性のある検査方法を普及させさせる観点から、国立感染症研究所の病原体検出マニユアルに基づく方法(以下、「感染研法」という。)とメーカー等が提案する遺伝子検査方法の比較が行われた。その結果を以下のとおり情報提供する。

本

1. 国立感染症研究所が用意した臨床検体を用い、感染研法との一定の一致率を示した遺伝子検査方法

国立感染症研究所が用意した臨床検体（陽性 10 検体、陰性 15 検体）を用い、感染研法との陽性一致率及び陰性一致率を求めた結果が厚生労働省に提出された。そのうち、陽性一致率及び陰性一致率ともに 90%以上を示した結果は、現時点において、以下のとおりであった。

(ア) 通常の検査方法 (逆転写及び遺伝子増幅に1時間以上かかるもの)		
検査方法	結果	備考
1 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 のキット (LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV E-gene、LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV N-gene)	陽性一致率 100% (10/10) 陰性一致率 100% (15/15)	「LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV E-gene」及び「LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV N-gene」を利用し、両方もしくは、いずれかの方で陽性となれば、「SARS-like コロナウイルス ^{註1} 陽性」と判定する。 2003年流行のSARS-CoVと新型コロナウイルス2019-nCoV (SARS-CoV-2)を区別することはできない。しかし、SARS-CoVの流行がない状況での運用上、本試験陽性で、新型コロナウイルス2019-nCoV (SARS-CoV-2)陽性と判定することは可能である。
2 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 のキット (LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV E-gene)	陽性一致率 100% (10/10) 陰性一致率 100% (15/15)	「LightMixR Modular SARS and Wuhan CoV E-gene」のみ (E-geneのみ) の評価結果を示した。
3 BGI 社製 新型コロナウイルス検出RT-qPCRキット	陽性一致率 100% (10/10) 陰性一致率 100% (15/15)	予備検討 (陽性一致率 100% (4/4)、陰性一致率 83% (5/6))において、製品に添付されるBlank controlでFAMのシグナルが検出されることがあることが判明した。Blank controlでFAMのシグナルが検出されることについては、製品に添付される取扱説明書に

				沿った対応が必要である。
4	医学生物学研究所 FLUOROSEARCH™ Novel Coronavirus (SARS-CoV-2) Detection Kit	陽性一致率 100% (10/10) 陰性一致率 100% (15/15)		
5	ライフテックノロジーズジャパン株式会社 TaqMan SARS-CoV-2 Assay Kit v2 (Multiplex)	陽性一致率 100% (10/10) 陰性一致率 100% (15/15)		
(イ) 迅速な検査方法 (逆転写及び遺伝子増幅が1時間未満のもの)				
			結果	備考
1	栄研化学社 Loopamp 2019-nCoV 検出試薬キット	陽性一致率 90% (9/10) 註2 陰性一致率 100% (15/15)		
2	杏林製薬 SARS-CoV-2 GeneSoC ER 杏林	陽性一致率 90% (9/10) 註2 陰性一致率 100% (15/15)		
3	株式会社ダナフオーム SmartAmp 2019 新型コロナウイルス検 出試薬	陽性一致率 90% (9/10) 註2 陰性一致率 100% (15/15)		

4	キヤノンメディカルシステムズ(株) 新型コロナウイルス RNA 検出試薬 GeneLyzer KIT	陽性一致率 90% (9/10) 註2 陰性一致率 100% (15/15)	
---	--	---	--

註1：SARS-like コロナウイルスとは、2003年流行のSARS-CoV ならびに、今回の新型コロナウイルス 2019-nCoV (SARS-CoV-2) の総称。

註2：10検体のうち2検体は、2019-nCoV RNA コピー数が10~20コピーのもの。

2. 独自の臨床検体を用い、感染研法との一定の一致率を示した遺伝子検査方法

独自の臨床検体を用い、感染研法との陽性一致率及び陰性一致率を求めた結果が厚生労働省に提出された。そのうち、陽性一致率及び陰性一致率ともに90%以上を示した結果は、現時点において、以下のとおりであった。

(ア) 通常の検査方法 (逆転写及び遺伝子増幅に1時間以上かかるもの)		結果	備考
1	現時点において、該当なし。		
(イ) 迅速な検査方法 (逆転写及び遺伝子増幅が1時間未満のもの)		結果	備考
1	現時点において、該当なし。		

新型コロナウイルス感染症対策の岐阜県内医療モニタリング(案)

感染症指定医療機関 (5 病院)

圏域	病院名	感染症病床	一般病床 (肺炎受入可能病床)		重症	入院 軽症		人工呼吸器 保有台数	うち稼働可能台数	ECMO 保有台数	うち稼働可能台数
			重症	軽症		重症	軽症				
	A 病院										
	B 病院										
	C 病院										
	D 病院										
	E 病院										
	計										

一般病院

圏域	病院名	感染症病床	一般病床 (肺炎受入可能病床)		重症	入院 軽症		人工呼吸器 保有台数	うち稼働可能台数	ECMO 保有台数	うち稼働可能台数
			重症	軽症		重症	軽症				
岐阜	A 病院										
	B 病院										
	C 病院										
	D 病院										
	E 病院										
	岐阜圏域計										
西濃	F 病院										
	G 病院										
	H 病院										
	I 病院										
	J 病院										
	西濃圏域計										
中濃	K 病院										
	L 病院										
	M 病院										
	N 病院										
	O 病院										
	中濃圏域計										
東濃	P 病院										
	Q 病院										
	R 病院										
	S 病院										
	T 病院										
	東濃圏域計										
飛騨	U 病院										
	V 病院										
	W 病院										
	X 病院										
	Y 病院										
	飛騨圏域計										
	計										

県合計